

災害用伝言ダイヤルのお勉強

大きな災害がおこると、家族や友達のことを心配して一度に沢山の人が電話をかけるので、電話がつながりにくくなってしまいます。NTTではこの対策として「災害用伝言ダイヤル 171」という、電話をかけることができれば誰でも使える便利サービスを提供しています。被災地の人が、自分の被災状況を録音し、親戚などがその録音を再生できるというものですが、固定電話しか使えないため、携帯だけの家族では利用できないという欠点がありました。しかし今年から携帯電話も使用可となりましたので、固定電話・携帯電話とも共通の使い方などをご紹介します。

災害用伝言ダイヤル 171（NTT提供、料金無料、おすすめです）

録音方法 最初に 171 を押すとガイダンスが流れるのでその指示に従って操作すれば超簡単。①電源を入れ通話を可能にして、「171」を押し「1」を押す ②自分の電話番号を市外局番から押す ③「1」を押しメッセージを録音（例：〇〇です。蚕糸の森に避難しています。みんな無事です）④「9」で終了

再生方法 ①「171」を押し「2」を押す ②聞きたい相手の電話番号を市外局番から押す ③「1」を押すとメッセージの録音内容が聞ける ④「9」で終了

注意事項他 発災当初の録音は被災地優先（再生は全国可）となりますので、残念ながら携帯の番号は被災地外の扱いとなり、混雑が緩和してくると録音可能となります。なおこのサービスは大震災がおこると開始されるため、普段の伝言（買物依頼、帰宅時間連絡など）には使えません。録音件数は20件各30秒（総数800万件）まででオーバーすると古いものから消去。家族でこのサービスが使えるよう下記体験日に練習しておくといいですね。録音内容は自動消去されます。

体験利用日 ①毎月1日、15日 0時～24時 ②正月三が日（1月1日0時～1月3日24時）
③防災週間（8月30日9時～9月5日17時）④防災とボランティア週間（1月15日9時～1月21日17時）

特設電話 災害時には被災者や帰宅困難者の通信手段確保のため、優先的につながる無料特設公衆電話が設置されます。27年末での全国設置台数31千台、設置場所15千箇所。近隣ではセブンイレブン和田3丁目店1台、セブン和田3丁目東店1台、高南中3台、杉十3台です。また、グレーや緑の公衆電話も優先扱いなので近くにあると安心ですね。

その他の伝言サービス NTT提供の「災害用伝言版 web171」と携帯各社が提供している「災害用伝言版」、「災害用音声お届けサービス」があります。これらのサービスはインターネットを利用しているため、電話回線の混雑に左右されないというメリットが大きいですね。できれば2種類のサービスをマスターしておけば万全と思われます。web171では音声または文字の伝言登録とか、両サービス横断の検索、メールによる登録通知など、きめ細かいサービスが提供されます。各社提供の災害用音声お届けサービスは専用アプリのインストールが必要なため、やや敷居が高いです。また、各社全サービス横断の安否情報検索サイト「J-anpi」もあり、氏名または電話番号で検索できるので、相手の携帯の機種がわからなくても伝言を見つけることができます。

J-anpi のアドレスは <http://anpi.jp/top>

